

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 2024年3月31日

事業所名: AIAI PLUS村上駅前

		チェック項目	はい	どちらか いい	いいえ	工夫している点	開属や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	1	基準の床面積を確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	3	2	2	基準に準じた配置をしている	今後より良い支援を提供するため、専門職員の配置を検討しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	3		昼礼や夕礼を通して職員に連絡内容の共有を毎日行っているが、経過記録にも記載し連携遅れが内容対応している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	6	1			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			いただいた意見を職員で共有し、HPで公表しております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	1		いただいた意見を全職員で共有しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	1		会社での研修の機会をもっと増やしていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1			
適切な支援 の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	2			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		ケース会議を通して振り返りを行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2		計画的にお子さまの支援の評価を行い、利用時の様子に合わせて支援内容を変更している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	2	1		必要に応じて検討いたします。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		個別での支援を基本としながら、お子様の発達の状況を考慮し小集団での支援も行う。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			昼礼、夕礼を通して職員に連絡内容の共有を毎日行っている。支援のFBを必ず行い次回の支援に生かすようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			職員間で支援の共有をしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			支援については必ず記録をし、利用時には前回の支援内容を確認し支援を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	7			職員間で支援の共有をし、内容の申し送りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			
関係機関や 保護者との 連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	1		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	4	2	1	保護者との情報共有にて対応している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	3	対象の児童なし。	医療的ケアが必要なお子さまの受け入れはございません。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7			必要なお子さんは随時対応している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4	4	移行する児童なし。	対象となる利用者様がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2		見学には行ったが研修は受けていない。	専門機関との連携についても、今後検討してまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		4	現在は対応していない。	ニーズに応じて検討してまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		3	放課後連に参加し情報共有に努めている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7			お迎えの際に当日ご利用の様子をフィードバックしている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	1	ペアレントトレーニングについては研修は特に行っていないが保護者からの相談などには随時対応している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			契約締結時に行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	7			ご相談があった際は迅速に対応している。	
保護者への 説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3	2	本年度も定期的な開催を検討している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1		苦情などの対応については契約時に説明を行っているが、ご意見をいただいた際は迅速に対応している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		毎月AIAIPLUS通信を発行し連絡先も記載している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		特性に沿った支援を行うよう配慮している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	3		ご希望があれば検討したいと考えております。
	38	個人情報等の取扱いに十分注意している	6	1		マニュアルは作成し、職員間で共有済み。	
非常時等の 対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		定期的な避難訓練を実施。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を行っている	5	1	1	虐待防止研修を実施し、チェックリストで全職員対応している。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1		契約時にやむを得ない場合身体拘束を行う事を説明している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			食事の提供なし。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している	6	1		全職員必要時記載し、職員間で共有している。	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	-	食事の提供はしていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリハットの事例は適宜指導員間で対応策を共有している。	
43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	定期的なチェックリストで確認をしている。		
43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	0	契約書および個別支援計画書に記載し、説明している。		